

ばら色の頬に金色の巻き毛のチト。チトには不思議な力がありました。親指をあてると、どんな所にも花を咲かせ緑を育てることができるのです。刑務所、病院、貧民街…チトは街を花でいっぱいにし人々を驚かせます。ある日、戦争のニュースが飛び込んできてチトのパパは大忙し。チトのお父さんは巨大な兵器工場を経営し莫大な富を得る兵器商人だったのです。それを知ったチトは…



## チトってだあれ？それはあなた

「戦争はいやだ、なくしたい」と願うチト。  
矛盾を抱えたおとな社会の「常識」を、  
「なぜ？どうして？」と問いかけ、ひっくり返していくチト。  
すべての子どもたちの心の中にはチトが生きていて、  
すべての子どもたちは奇跡を起こす力を持っているのです。

原作／「みどりのゆび」 訳／安東次男(岩波書店刊)  
作／モーリス・ドリュエオン 脚色／篠原久美子

演出／福永朝子 美術／宮武史郎 長谷川真代 世宮友江  
演出補／大野正雄 音楽／八幡美佳 ノノマママナコ

# チト

みどりのゆびをもつ少年